

南笠東学区人推協だより

絆

きずな

第24号

2024年3月1日

南笠東学区
人権教育推進協議会

令和5年度のあゆみ

「総会」 5月10日



「第3講座」 7月21日



「実践発表のつどい」 2月17日



「管外研修」 9月29日



「第4講座」 9月20日



差別のない助け合える地域社会を

人権教育推進協議会 会長 嶋林 聡

日頃より南笠東学区人権教育推進協議会へのご協力を賜わりありがとうございます。

2024年は1月1日に発生した令和6年能登半島地震の衝撃的なニュースで始まりました。多くの方が被災し、今なお避難所や車中で過ごす方がおられます。被災している方同士が助け合っておられる様子を見て、非常時こそ隔たりのない助け合いが大切だと考えさせられました。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症による制限を受けなくて活動を行うことができました。各講座や管外研修、小中学校での人権学習の発表等を通して、すべての人が持つ人権、つまりすべての人が幸福な人生を送ることの大切さと、今なお基本的人権が侵害されている現実に向け、差別を根絶するために何をしなければならないかを考えることができました。「これが正解」という答えを見つけることはなかなか難しいですが、真剣に取り組み続けて行かなければならなりません。

今年度は様々なところで活動が広がり、人と接する機会もグッと増えたことと思います。やっぱり「人との関りは良いものだなあ」と改めて実感された方も多くおられたと思います。一方、多くの人と接する機会が戻ってきたからこそ感じるお互いの違いや難しさがあったり、自分自身の人とのかかわり方について、自分の発言や行動が誰かを傷つけたりガッカリさせたりしていないか？考えさせられるのではないのでしょうか。

以上のような場面で自分自身を見つめ直すため、また思わぬ時に起きるかもしれない災害時等に差別なく助け合うためにも、町内会や学区で行われる人権学習の役割は大きなものですので、今後とも機会をとらえてご参加いただければ幸いに存じます。

令和5年度の人権管外研修で、三重県人権センターを訪問

人権教育推進協議会副会長 浅井 利治

南笠東学区人権教育推進協議会の令和5年度「人権管外研修」は昨年9月29日(金)に三重県人権センター訪問して行いました。新型コロナが終息を迎えつつあることから、町内会の人権推進委員の皆様をはじめ、地域団体やまちづくりセンターのサークル(自主教室)の皆様にも参加を呼びかけ合わせて24名の方に参加をいただきました。

南笠東まちづくりセンターを9時に出発し三重県人権センターに到着後、10時半よりセンターの西川指導員さんから、説明を受けて研修開始となりました。三重県では、約30年前に公衆トイレなどで差別落書きが多発したことから、三重県(庁)が危機的状況と判断し、都道府県では全国でも一番に早く1990年に三重県人権宣言を公布し、それに続けて人権条例を制定したとのお話をいただきました。その後、館内の常設展示コーナーを閲覧し、中世から現代にいたる差別の歴史や現在の取り組みについて深く学ぶ機会となりました。



令和5年度モデル町内会の取り組みについて

令和5年度モデル町内会 新南笠町町内会 会長 下口 晃生

本年度は学区内のモデル町内会に選ばれ、第1～4 講座を通じ色々な人権について学ぶことができました。第1、2講座は草津クレアホールで開催され、講師の部落解放同盟草津市協議会より「未来への扉」、龍谷大学の妻木進吾さんからは「他者を差別してはならない」と「自らの権利を使いこなす」のお話をお聞きし、人権とは「人間の生存にとって欠くことのできない権利および自由」であることを再認識いたしました。

第3講座では、講師の高木洋司さんによる講演「みんなが暮らしやすいまちづくり～『ふつう・あたりまえ』～に立ち止まって」をテーマにお話があり、何気なく話していても相手が傷付いている場合もあるということ、歌も交えて楽しく学ぶ機会となりました。

第4講座は「同和問題の理解や課題の解決に関する学習」として、草津市同和教育啓発講師団の大崎武弘さんより「人を大切に」と題してお話を聞かせていただきました。また、管外研修は 三重県人権センターに訪問し、館内の展示物や説明で差別の歴史や人権の大切さを学習しました。

新南笠町内会における町内学習懇談会では、これらの講座で学んだことを踏まえ、DVD「私の中の差別意識」を視聴して感想や意見交換をしました。参加者からは、いろいろな意見や質問があり、草津市の行政職員の方のご指導を受けながら、人権問題について沢山学ぶことができました。



人権研修で学ぶ

令和5年度モデル団体 民生委員児童委員 担当 若山 厚子

新型コロナ感染者が見られた発症初期のころは、コロナ感染者に対する偏見や差別が絶えませんでした。今では5類に移行され平常に戻りつつあります。民生委員児童委員協議会では、偏見や差別のない世界をつくり上げていくために、ハンセン病の歴史から学ぼうと、【ハンセン病 国立療養所 長島愛生園】を訪れ、研修しました。

長島愛生園は、1930(昭和5年)年に日本初めての国立療養所として誕生、ハンセン病が感染症であることは分かっていましたが有効な治療法がなく、国の政策として療養所への隔離が行われた経緯や現在までの歴史、また、資料館・収容棧橋・収容所・監房・納骨堂などの施設を見学しました。1953(昭和28年)年に「らい予防法」に法律が変わりましたが、入所規定はあっても退所規定はなく、強制隔離だけが残る人権侵害が、1996(平成8年)年まで続きました。いつまた感染力の強い感染症を発症することがあるかも知れませんが、偏見や差別の無い時代となることを願っています。



「すずらん」の活動

令和5年度モデル団体 手話サークル「すずらん」 内藤 明

「すずらん」は南笠東まちづくりセンターで活動する手話サークルです。ろうあ者の方を講師にお迎えし、主に手話による日常会話ができるよう教えてもらっています。

他所のろうあ者との交流会などでは、多くの手話を知らなくても、その手話が正しくなくても相手の目を見てイメージで手を動かせばいいのです。不思議と通じるものです。また、車いすを押す体験企画にも参加したことがあります。ゆっくり押しでも乗っている方は地面に近いので早く感じます。数センチの段差でも衝撃は強いです。雨水が流れ込む鉄の蓋に車輪がはまると抜けません。体験してこそ分かる事がたくさんあります。

障害者差別、人種差別、同和問題、子ども同士のいじめ、子どもへの虐待いろいろあります。講演を聞き、いろいろな所への見学に参加はさせてもらっていますが、あまり難しい事は考えていません。困っておられる障害者の方に進んで声を掛けてお手伝いをするようにしています。ただこれだけです。これで心の交流も理解も出来ると思っています。



人権学習会を終えて

南笠東小学校 PTA 人権教育推進委員長 中野 亜希

今年度の南笠東小学校 PTA は、感染症による人数制限なども解除されたことから、みなさんが参加しやすいように、ということで「わかカフェへようこそ」DVD 鑑賞会を開催しました。

「インターネットによる人権侵害」「高齢者の人権」「外国人の人権」の3つのテーマに沿ったDVDを観た後、ご参加くださった地域の方々、先生方、保護者の方々でグループに分かれ、感想や今感じている人権問題について、お茶を飲みながら歓談しました。時間が足りない位に話が膨らみ、人権についての理解が深まりました。

まず人権について知ること、そして対話やコミュニケーションが大切だということを感じた人権学習会となりました。



玉川中学校 PTA の取組について

玉川中学校 PTA 人権教育推進部長 片岡 真季



今年度は、「つながり、気づく人権教育～親子のコミュニケーションを通して～」を研修テーマに活動しました。6月15日(木)の「情報モラル学習会」では、スマホやSNSのトラブルから身を守るために知っておきたいネットのリスクを、NIT情報技術推進ネットワーク(株)の篠原嘉一さんに講演していただきました。

毎年新しい情報が得られるので、家庭で生徒と保護者が話す機会になっている感想が多かったです。

また、1月18日(木)には、にじいろi-Ru(アイル)の田中一步さんと近藤孝子さんに『じぶん、まる!～ひとりじゃないよ。じぶんがいいよ。～』と題して、性の多様性についてのお話をいただきました。生徒向けのお話でしたが、保護者や教員など大人にとってもしっかりと考えていくことができる大切なお話でした。

町内学習懇談会推進者研修講座(第1・第2講座)

草津市立人権センター 諸頭 正樹

7月8日(土)、草津クリアホールを会場に開催しました。

今回は、4年ぶりに参加者が一堂に会して開催することができました。第1講座は、部落解放同盟草津市協議会より、第2講座は、龍谷大学の妻木進吾さんよりご講演いただきました。その中で、「差別の現実を確かにとらえること」「解決に向けた学びを継続すること」の大切さを学び、町内学習懇談会を推進する皆さんと確かめ合うことができました。

南笠東学区人権教育推進協議会の皆様にも、ご参加いただきありがとうございました。



人権作品・表彰者 一覧



標語 一般の部

- ・勇気出す 明日が変わる 一声で
- ・違っていい 互いの個性をリスペクト 認めて輝く笑顔の社会
- ・思いやり 行動ひとつで 笑顔の花
- ・“ありがとう” 心にひびく思いやり
- ・多様性 やわらか頭で 受け入れて

(敬称略)

松宮 惇
竹下 敬二
岩崎 慈世
持田 千代美
菅原 知子

標語 小・中学生の部

- ・やさしい 気持ち 大切に
- ・人の心が きずついたら もうなならないよ
- ・平和にしよう いじめなし
- ・そのひとこと いいか悪いか 考えて
- ・自分は 一人じゃない みんないる
- ・友だちと いっしょにあそぼう えがおになる
- ・いじめなし こころの言葉 おしえるよ
- ・トモだちと なかよく元気よく すごそう
- ・人を大切に 友だちと楽しく遊び いい思い出
- ・みんなが 笑顔 ほっとする
- ・つくらない つくらせない 差別の根
- ・人々の 笑顔絶えない 世の中に
- ・やめときや その一言を 言う勇氣
- ・助けるよ 君の笑顔が 見たいから
- ・一言で みんなに広がる 笑顔の輪
- ・その写真 盛れてるけど 漏れている

柿ノ木 唯乃 (小3)
片岡 千春 (小3)
北川 優衣 (小3)
棚瀬 健太 (小3)
羽根 桜 (小3)
上田 陸人 (小3)
小林 杏 (小3)
清水 華奈 (小3)
大門 凜久 (小3)
掘之内 陽輝 (小3)
奥村 美湖 (中3)
秋山 柁心 (中3)
大橋 文秋 (中3)
児玉 瑛祐 (中3)
畠中 夏希 (中2)
保木 凱翔 (中2)

作文の部

- ・人権学習をして
- ・人権学習をして
- ・私が考えるいじめについて
- ・LGBTに私が思うこと
- ・スマホでのトラブル

寺岡 天音 (小4)
羽山 涼 (小4)
内田 惟咲 (中2)
山崎 春花 (中2)
浦谷 絢珠実 (中1)



ポスターの部

- ・徳増 丈 (小6)
- ・金谷 優音 (小6)
- ・西村 樹 (小6)
- ・日塔 結菜 (小6)
- ・河上 唯 (小6)
- ・中村 琉歌 (小6)
- ・松原 小桜 (小6)
- ・播磨 勇佑 (小6)
- ・中村 有里 (小6)
- ・城内 新 (小6)
- ・藤本 三福 (中3)
- ・梶原 愛 (中2)
- ・小島 未来 (中2)
- ・山田 瑛麻 (中1)

2月17日の実践発表のつどいで表彰させていただきました